

## GK 京都、生まれ変わったスポーツランド SUGO をデザイン ～蔵王連峰の絶景と調和した「東北のモータースポーツの聖地」をトータルデザイン～

株式会社 GK 京都（京都府京都市 代表取締役社長 榎本信之）は、2022 年 4 月、改修工事を完了した宮城県柴田郡村田町にあるスポーツランド SUGO（株式会社 菅生）のトータルデザインをプロデュースしました。



### スポーツランドSUGOについて

スポーツランド SUGO は「東北のモータースポーツの聖地」として、日本で唯一オン・オフを問わず二輪・四輪・カートを含めた全カテゴリーの全日本格式のレースが開催されている、FIA 公認の国際レーシングコースを備えたサーキットです。2022 年 4 月、2 シーズンに渡った改修工事が完了し、蔵王連峰の絶景と調和した世界でも類を見ない美しいサーキットに生まれ変わりました。

### デザインコンセプト

GK 京都は 2012 年から、VI（ビジュアル・アイデンティティ）の見直しを手始めに、ロードサイドの誘導サインや場内サインの整備、キャラクターデザインなど、スポーツランド SUGO のデザインを担当してきました。近年は、我々が提案したサーキット全体の景観イメージに基づき、年度ごとに改修工事が実施される施設のデザインを監修しています。

これらのデザインにあたっては、雄大な自然美や非日常の楽しさの提供など「“SUGO にしかできないモノ・コト”を磨き上げる」という目標を掲げ、トータルデザインとして、伝統・機能・スタイリッシュを共通のコンセプトとして取り組んできました。



SUGO のシンボルマークは、敷地内に自生する多年草の「フタリシズカ」がモチーフになっています

## VI・サイン・コミュニケーション・景観のトータルデザイン

VI では、シンボルマークやロゴマークの表現を見直し、WEB サイトや名刺やバナーなどへの使い方を整理してガイドラインにまとめました。

サインは、仙台市内からの誘導～入場ゲート～場内案内のサインに一貫性を持たせたデザインを提案しました。市内の誘導サインではチェッカーフラッグをモチーフにしてワクワク感を演出し、SUGO ロゴマークのゲートサインを結界として、黒を基調とした情報を引き立てる場内サインへと、お客さまをスムーズに目的の場所まで案内する、一連のつながりを意識したデザインとしました。

2015 年のスポーツランド SUGO 開設 40 周年には、キャンペーンロゴやキャラクターデザインなどを通して、新しい SUGO ファンづくりに貢献しました。

景観デザインは、自然と調和するスタイリッシュで美しいサーキットを目指して、各施設の外観カラーをコーディネートしました。モノトーンを全体の基調色にして、SUGO のイメージカラーであるグリーンをポイントカラーに使ってまとめました。トイレやレストランや売店などの観客向けの建物は白とシルバーで、ピットやコントロールタワーなどレース関係者向けの建物は防眩仕様の黒で色分けしました。そして、2022 年 4 月、東ピット棟の竣工をもって全工期が終了しました。

GK 京都はこれからも、「東北のモータースポーツの聖地」として活動するスポーツランド SUGO を、トータルデザインでサポートしていきたいと考えています。

## ●スポーツランド SUGO

スポーツランド SUGO は、蔵王連峰の絶景と調和した世界でも類を見ない美しいサーキットです。1975 年に開業し、FIA 公認の国際レーシングコースやモトクロスコースを中心に、モータースポーツの初心者から上級者まで楽しめるコースや、キッズパークやバーベキュー・いも煮会場などのアミューズメント施設も備えています。日本で唯一オン・オフを問わず二輪・四輪・カートを含めた全カテゴリーの全日本格式のレースをはじめ、地方選手権や参加型のイベントや走行会が開催され、女性や子供も楽しめる空間を提供。「東北のモータースポーツの聖地」としての伝統と格式に加えて、モータースポーツの普及にも取り組んでいます。



## 株式会社 GK 京都

デザインマネジメントを強みとする総合デザイン会社。1972 年創業。

プロダクトからコミュニケーション、環境、UI/UX にいたるまで幅広い事業を展開。様々なモノづくり、コトおこしを牽引していく「クリエイティブ・ハブ」として活動しています。2022 年に 50 周年を迎え「みらいに行く！」を合言葉に、人々の暮らしや社会に貢献するデザイン会社を目指しています。

## ●トータルデザインの取り組み

GK 京都は、創設時「京都から世界に発信する生活文化の創造」を事業ビジョンに掲げました。それ以来、「生活文化」とは、人を取り巻くあらゆるものの総体として読み解くべきとの考えから、領域にこだわらない「トータルデザイン」を標榜し活動の幅を広げてきました。「トータルデザイン」で提案できることは我々の強みであり、クライアントの事業に対しても全体的な貢献が可能だと考えています。

これまでスポーツランド SUGOをはじめ、ヤマハ発動機やソフトバンクの様々な事業、京都府市や神戸市の公共交通関連事業や観光事業、国や地域の防災などの社会課題に対して、「トータルデザイン」の提案を行ってきました。

〈問合せ先〉

株式会社 GK 京都

京都府京都市上京区相国寺東門前町 657

TEL : 075-211-2277

担当 : 井上 (070-1587-2286) E-mail [s.inoue@gk-kyoto.com](mailto:s.inoue@gk-kyoto.com)

<https://www.gk-kyoto.com/>

〈報道関係者問合せ先〉

つぎて

担当 : 西野 Email [snishino88@gmail.com](mailto:snishino88@gmail.com)